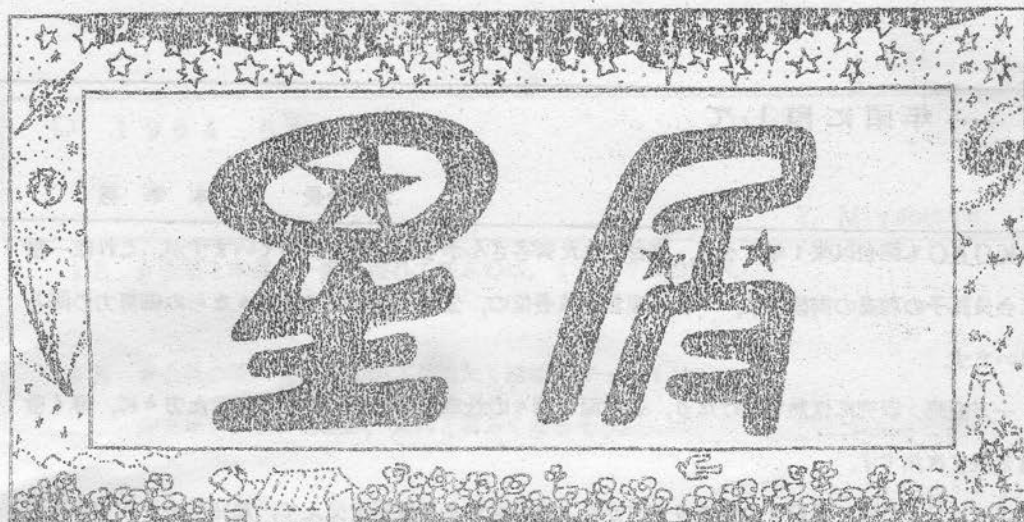




No 115
116

• Jan
• Feb

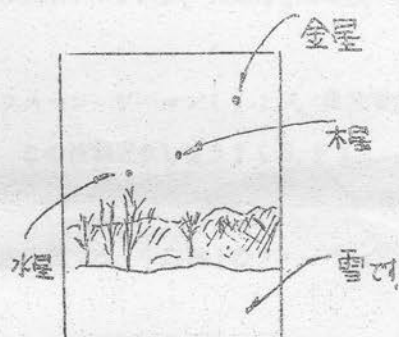
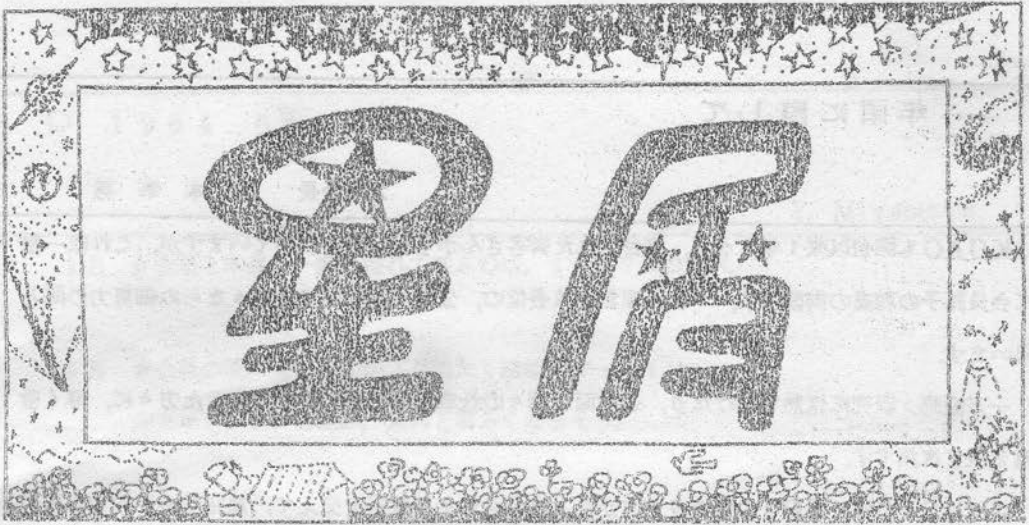


PHOTO by. Hot

泉民天文台



No 115
116

• Jan
• Feb

泉民天文台

年頭に際して

天文台長 宮本 幸男

KCAOも開台以来1年8ヶ月、来台された御客さんからも好評を頂いていますが、これは一重に会員諸子の精進の御陰です。特に運営委員各位の、公開業務に対する並々ならぬ御努力の賜と思います。

一方観測・研究に情熱を傾けたり、運営面で諸々の仕事を快く御引受け下さった方々に、厚く敬意を表す次第です。

さてKCAOは、星好きの集まりですから、来台された一般客を交えて、星空散歩や観望を通じ“星”を楽しむことは、最大の喜びです。しかし、研究を対象とした観測や、基礎資料の集積・整備がなされてこそ天文台としての機能を、発揮出来るものと信じます。

観測設備の拡充や整備も考えねばなりません。あと2年でハレー彗星もやって来ます。

希望は大きく、着手は身近な小さいところから確実に実施しましょう。

私事の抱負としては、1月より鏡面研磨を再開し、納得のいく、ライト・シュミットを、作ってみたいと思っていますところ です。

『冬の天文台』

撮影 Ho

記事は、

7ページ



○ 1984 Big News.

Y. Miyamoto

- 1月 ☆金星と木星が一度弱離れて並ぶのは、1月27日の晩天。
- 2月 ☆会員の坂本省吾さんが、目出たく結婚にゴールイン。
☆クロンメルン彗星が、意外と明るくなりそう。
- 3月 ☆会員の原賀秀昭さんが、小西六写真工業に就職。おめでとー。
☆ボンヤリとしたエンケが、夜空の海を泳ぐことでしょう。
- 4月 ☆ル星では夏から秋への変わり目、北極冠に大きなクレパスが入るかも？
- 5月 ☆音キチ国の宇宙船は、土星の輪に超大形のカートリッジを装着(S.F)。
- 6月 ☆イオの火山アルゴスが、大爆発を起こし、噴出物で木星の縞が見えなくなる。(S.F)
- 7月 ☆ジュラスマン・ワハマン(Ⅰ)が、異常増光、分裂した核の一部が、地球へ向っている。
。。。この情報どうしょう？(S.F)
- 8月 ☆根子岳山麓では、「広場」のフィーバー。
- 9月 ☆かぐや姫(日本)と遊子(中国)が、月宮殿で国際結婚。(S.F)
- 10月 ☆母彗星ハレーの回帰を前に、オリオン流星群の活動が異常に増加。流星雨がふる。
(S.F)
- 11月 ☆日食病におかされた〇〇氏は、サンディアイランドで65秒間のコロナに感涙を流し、
ハレーが来るまで、住みつくと由。
- 12月 ☆へんな宿題を考え過ぎて、精神病院へ入れられた。(S.F)

今年の抱負

長谷 勇治

日頃は全く天文台に顔を出していない(実は入会以来1年半、建物を外から見たことはあっても中に入ったことがないのです。)ので、少しは顔を売っておいた方がよからうと思い新年会に出席してみたところ、この原稿を頼まれ、いささか後悔している所です。

私が入会させていただいたのは、大きな望遠鏡で星を見たかったからではなく、自分自身を励ますためでした。星に興味を持って15年以上がすぎ、望遠鏡も小さいのが何台かありますが、最近実際の星を見ることがほとんどなくなっていました。特に2年前パソコンを購入して以来ますますひどくなった様です。元々天文計算をやってみたくて買ったはずだったのですが。。

「こんなことではいかん!」と思い、前からその存在は知っていたこの会に、入会させて頂くことにしたのです。しかし星ばなれの傾向は止まらず、どうにかせねばと考え非常手段として、日食を見に行くことにしました。

確かにあのコロナの流線、そして真赤なプロミネンスは、ビョーキになりそうなほど印象的で、空港では、次はメキシコで会おうと誓いあって、仲間と別れたものでした。また、周囲に星について語り合える仲間のいることが、そして星仲間と一緒に夜空を見上げることが、どれ程楽しいことかを思い知らされました。

ところで、『今年の抱負』というテーマでこんなことを書いてしまったのは、残念ながら十数万円かけた割には星に対する情熱が、充分に湧いてこなかった、ということなのです。

つまり、今年の抱負は、どうにかしてかつての、赤経、赤緯ともに微動のないフリーストップの赤道儀でベネット彗星をガイド撮影したところの、そして火星の大接近を見ようと入試も無試?して15cmを作っていたころの情熱を取りもどしたい、ということです。あやしいものではありませんが、

なお、私は何年か前に天文ガイドに掲載されている『読者の天体写真』の撮影データーから、十年間のアマチュア天体写真の変遷について調べたことがあります。自分を励ますためにもその後のデーターも含めて、まとめなおしてみようかとも思っております。それができたら『星屑』の空ページふさぎに投稿させていただくかもしれません。その時はよろしくお願いします。

今年の抱負

★永井 剛

1. 熊本県民天文台としては、天文台が出来てから初の火星接近なので、31cm鏡を使って拡大写真を撮ってみたい。外部に出しても恥かしくないものを。
2. 二重星セクションとしては、31cm鏡で見て楽しめる二重星の季節ごとのリストを作成したい。一般公開にも利用出来る様に。

★下郡 慎太郎

'84起こるであろうと思われるニュース

- 火星の接近に際し、観測プロジェクトを組むが、酒を飲んで不発に終る。
- コメットセクション、彗星を発見！と、さわぐが、実はM100であることがわかる。
- スカイウォッチャーの発行部数が、ついに天ガを抜く。これにより、天文人口が100万人を超え、大きな社会問題となる。
- J氏、今年は結婚する。そしてF氏、N氏、MK氏へと結婚ラッシュ。

★土山 由紀子

- 今年の抱負...さしおろ太陽黒点の観測日数を100日くらいには、増やしたいものですが...まあ無理でしょうね。大学で黒点の集計でも頑張ります。勿論、勉学の方も...。
 - '84年、重大ニュースの予測ですか？ 難しいことを...勝手に予測致します。そうですね、「6月24日、琴座に-10等の超新星が現われる」などというのはいかがでしょう？ ありそうにもないですネ。(編集者より 今から琴座の写真をずっと撮っておきます。)
- しかし、みなさんまだ私の名前を、覚えていらっしゃるのでしょうか？

★原口 博

- 今年最大のイベントは火星の接近
5月11日に衝、最接近は5月19日、距離は7950万Km、視直径は17.6秒
- ハレー彗星は年末には18等級に増光。
- 8月12日17h頃ペルセウス座流星群が極大。
- 8月12日 0h43m満月。

ハレー彗星からの便りを（観測報告です、一応）

土山由紀子

1月7日24時すぎ、ハレー彗星がいかくじゅう座付近の10等星を掩蔽し、それが日本で見られるというわけで、KCOOでも観測が行なわれた。直焦で掩蔽される10等星を固定撮影し、その写真から食の長さを求め、さらにハレー彗星の直径を算出しようというのである。……と書くといかにももっともらしく聞こえるが、実は私はそんな難しそうな計算のことはサッパリわからないし、黒点と流星以外のものの観測などしたことも見たこともなかったのだが、一年半ぶりに天文台を訪れてみようとしてJ氏の車に便乗したところ、この観測の現場に居あわせることになったのだ。熊本去ること二年、そろそろ幽霊会員も板についた私が報告などを書いている所以である。

さて、7日21時。天文台に着くと、そこにいたのは私とは初対面のN君ひとり。人が集まらない（特に、H氏が来ない）とJ氏とN君が言ってましたが、私は果たして何人観測に必要なものやら見当もつかない有様。その後、31cmの方では観測準備が行われていたが、私は一人で星野写真の撮映をしていたため、このあたりの報告はカット。

ハレー彗星の食の時間は刻々と近づく。皆忙しそうである。空気が心なしか緊迫している。23時50分、55分……突然単車のエンジンの音が近づいてきた。何とか食に間にあって、H氏の到着である。

24時。準備の邪魔になつては、と外をうろついていた私も第二観測室に入る。24時03分、いよいよ掩蔽開始。ラジオがせわしく時を告げる。私は30秒おきにシャッターを切った。食は3分で終わる。あっという間だった。

ハレー彗星は23等級、掩蔽される恒星は10等級。よって、食は10等星が減光する、あるいは消える、という形で観測されることになる。J氏によると、眼視では食はわからなかったとのこと。写真観測は31cmとMT100で行われたが、その結果は……どうだったのですか？実は私も知らなかったりするのだが。成功していたらエライことですね。（掩ベイは、なかつた。編集部より）

こうしてあわただしく観測は終わった。速い彼方からハレー彗星は私たちに存在を知らせようとしてくれたわけだが、果たしてその便は如何に？どこかで無事受け取られたであろうか。

……本当は上の行で終わりたいかったのですが、ここ二年間に入会された方々は私を知らないと思いますので一言執筆者紹介。静岡大学在学中の土山由紀子です。ヨロシク。

冬の天文台

HO氏

1月18日、熊本で29年ぶり?の大雪になり市内で10cm以上の積雪があった。

1月19日、昨夜以来の大雪もなくなり、雪雲の次は、快晴の天気だったのでHO氏は、愛車ラクーンに乗り、冬の寒い風の中を進んでいった。城南にはいり高速の下を通った時である、不幸が襲ったのである。前からおっちゃんが見えたのである、私は、少しブレーキをかけて横にそれようとした、普通ならうまくいくのだが今日は、違った。路面が凍っていたのである。アゝ悲しきかなラクーンは、ころんだ。数秒後、私は生きているのを感じた。手・足もあったバイクも無事だった。そして、また天文台へなにもなかった様子で進んでいった。私は強かった。

天文台にある急な坂をなんとかクリアして最後の坂に入った時、もう前に動けなくなった。仕方なしに、天文台に雪を踏みながら進んでいきドアを開けた。空は、もう暗くなりかけていた。天文台に着くや否や、すぐに31cmを開けてクローンメリン彗星を捜そうとした。30分程見るが、東の阿蘇の山々から満月が出て来て捜天をやめた。ルーフを閉めて、部屋に入って夕食をとり、TVを見ながら、コップに雪を入れてウィスキーを入れ酒を味わった。ウーん うまい。この味は、天文台にやって来た1人のバカの勇気の味なのだろうか? 1人酒を飲みながら、サバカンをつつく、外は満月で美しく輝いていた。

そうだ、この風景を写真に写しておこうと思い、雪見酒や満月に照らされた天文台などを写してその日は、ねむった。

翌朝、6時、目覚し時計に起こされて外に出る。金星が、見えている。そして木星が、その下には、水星が見えている。

私は、またもやカメラを向けた。数枚の写真を写した時には、もう回りはまっ白になっていた。その日の屋ごろ、雪だるまを作り記念に写真をまた写した。

ここに数枚出したが、まだまだあるので写真展にでも発表します。最後に星屑ご苦労さまです。



彗星課から「夕方の彗星」

コメント Sec

今月は、天ガ・月天・スカウオ・星の手帖などで観測してみようというコーナーでよく書かれているクロンメルン彗星にスポットをあててみました。この彗星は、日本の彗星ファンにとっては、馴染みのある彗星です。知らない人は、彗星の本を読んでみましょう。

さてこの彗星の観測をしようと計画をしたのは、83年11月下旬からでした。日本で眼視による観測を他のグループに負けなために、11月のない夜を天文台の31cmで接天していましたが、見えなく、月日も12月、1月と過ぎてついに1月23日の夕方に光のシミの様な大きさ5分程で光度12等の彗星を見つけたのでした。またしても彗星課活躍です。バンザイ！

この日から晴天の夕方7時ごろには、天文台にやって来ては、MT100で写真。31cm反赤では眼視観測をしています。光度も少しずつ明るくなってきており、初心者にも見やすくなってきています。

光度8~9等前後でしょうか。中央集光のないガスリッチの彗星ではそう変化もなさそうだし、まあ天文台に月のない夕方にでも来台していただけると天文台の運営そっちのけで彗星を追っている集団に会えると思います。

このクロンメルン彗星の他に夕方の空には、あのエンケ彗星がランデブーしています。この彗星を何回見たかでその人の彗星歴が、計算できるという代物です。ちなみに私は、80年の回帰しか見ていません。75h(K-B-M彗星)から彗星を見ているのですが。

さてエンケ彗星は、あまり条件はよくなく高度が低いために見れる時間は、短かいでしょう。見たとしたら視直径の大きい、シンのない彗星でしょう。この彗星もまだ(2月11日現在)観測されていないので満月後の2月19日ごろには、天文台から観測されていることでしょう。

早く2度目のエンケを観測したいものです。(2/18日:光度12等と観測できました。)

このエンケの他に見えそうで見えないクラーク彗星や見えないように見えたと思うテイラー彗星があるのです。一夜に彗星をいっぱい見れるのも31cmのおかげです。(31cmを自由に利用できる環境に感謝しています。ついでに星屑の編集をしなくていいのもっといいのですがね〜)

彗星にかぎらず色々な天体があるのですが、熊本を彗星のメッカにしましょう。

星屑の読者のみなさん、彗星課が、運営中にも彗星を見れるように天文台にやってきて「彗星を観測している所を見せて下さい」と言って下さい。そうすれば、彗星課としては一般公開中にじっくり彗星が見れるのですがね。夕方の彗星について終り。P.S. ハレー彗星の時は、じっくり観測できるのでしょうか？ 不安だと思いつつ、その時はオーストラリアに行っているのか。

自己紹介

F. 新村

現在一回生です。熊大天文研究会という名前だけはイカメシイところに属しています。小学4年のころ星に興味を持ちはじめました。理科がたいへん得意な子供でしたので、「将来は天文学者！」と思っていましたが、どこでどう間違ったのか、ただ今法学部に在席中です。一応、星雲星団科に属していますが、大学では観望をやろうと思っていたので、今年はM天体を全部見てやろうと思っています。（現在、まだ10コぐらいしか見てない、というのが実状です。）星についての知識はほとんどないので、これからいろいろ勉強しようと思っています。天文台には、このところだいぶごぶさたしていますが、近いうちに参上しようとした今計画中です。今、赤のハスラー（50cc）にYellowのヘルメットという、大変、見えやすい格こうをしていますので、街中で見かけた人は、ビーズサインを！

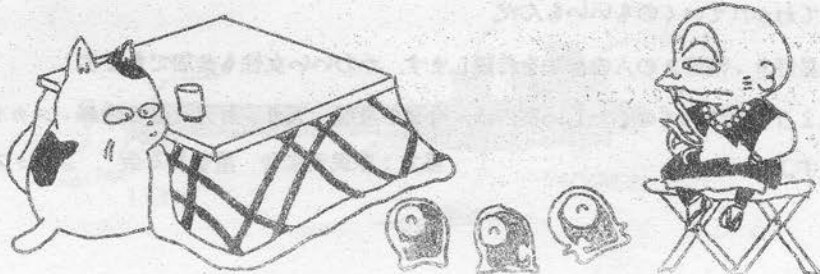
渡辺 知史

こんにちは。今回自己紹介を書かされている渡辺知史です。58年に熊本大学工学部金属工学科に入学し、現在、熊大天文研究会に所属しています。生まれは熊本ですが、いままでのちょうど半分は福岡に住んでいました。

天体“観測”より“観賞”の方が好みに合っているせいもあって、天文に関する知識はゼロに等しいのですが（熊大天研に入ってほぼ1年、何をやってたのかと言われると返す言葉もないけれど……）、本でも読んで少しずつでも知識をつけようと思っています。

今まで星を見ていて一番印象に残っているのは、高一の頃、ヨロン島で見た星で、全ての星がこちらで見る時より、一等も二等も上のように輝やっていたのを思い出します。

短いけれど、これ位で失礼します。今後ともよろしくお願いします。



P. R. 星を見よう会 '84

星の広場 HOTTA

今夏、8月2・3・4日と2泊3日、南阿蘇国民休暇村において、『星の広場』なる彗星が、好きという天文バカが集まって、全国大会があります。

一応どこにどんな会なのかを紹介しておきましょう。

まず、星の広場についてですが、

月刊天文の彗星のページを書いている加茂氏を会長とする会員約300名程の会です。その他には、結婚より彗星が好きという人もいますし、片野坂氏のようにまったく彗星を見ない人もいます。ちなみに私は、アルコールによる増感のスペシャリストです。いつもカブリばっかし色々といいますが、一応 彗星をやっている人は、かならず入会していると言ってもいいサークルなのです。その会報が、アストロ・ニュース・サービス(ANS)でありまして、星屑読者の中で、天ガ・月刊天文・星の手帖・スカウオなどに新すい星や新星の写真が、写されて速報賞をもらっているのを見て、どうしてすぐに見ているのだろうか？ と思っている人もあると思います。(こんなこと考えても見なかった人も考えましょう。)

その種明しが、星の広場のANSなのです。これは、ハガキにより東京天文台に入った情報がすぐに入手できるのです。まさに情報を早く入手する人が、賞金を得ることができるということなのです。ちなみに天文台は、ハガキよりも早く加茂氏よりTelで情報が入手できる。

天ガや・月天・星の手帖などに写真を載せたい人、天文台にちょくちょく来て天文台の黒板のニュースを見ているとその情報がすばやく入手できて、天文台の31cmで写真を写すなら速報賞+の8000円が、もらえるぞ。

次にその『星を見る会』

星の広場が、毎年夏にやっている会員の親睦を兼ねて彗星の勉強をしようとした集りなのです。昨年は、信州で開催されてその記事は、星屑#111に書かれています。バックナンバーを見て下さい。熊本県人は、あまり外に出ないのので(天文台で全国に出ていくのは、熊本県人ではない流れ者です/)せめて熊本である星を見よう会に参加して、星が好きという人と会ってまた再会を約束してわかれていくのもいいもんだ。

多数の星好き・酒好きの人の参加を希望します。かわいい女性も参加できます。

(星を見よう会についてのくわしい案内は、今後の星屑・天ガ・月天・星の手帖・スカウオなどに発表します。)

協力：県民天文台 星を見る会 スタッフHOTTA

星の店通信

トンボがトリに進化した！

K. JURO

星屑 105号にて、STARRABITTE印のトンボペンを紹介した。今回は更に飛翔力を増した：？鳥鉛筆を紹介する。

前回のトンボペンは、実際に使ってみると次のような不満が残っていた

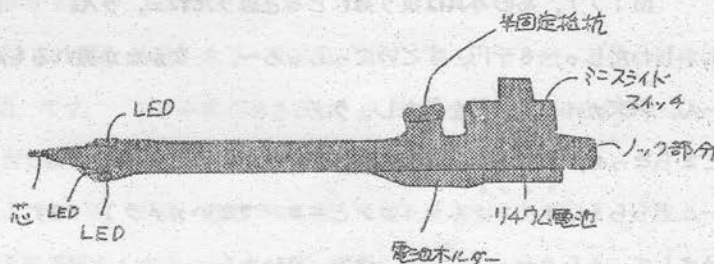
- ① LED2コ使用のために芯の両側が明るく、90度方向がやや暗い。(図1)
- ② やはりコードが邪魔である。
- ③ スイッチ付ポリウムのため点灯毎に輝度調節が必要。

さて、秋のある日、天草の旧友を訪ねて夜釣を楽しんだ。その時、手にしたのが電気ウキなる代物！ これだと直感するものがあり、帰期後すぐマーケットに走り、リチウム電池と電気ウキを購入した。そして、買ったばかりのウキをバラして、更に同じようなLED2コと極小型スイッチ、1K Ω の半固定抵抗と0.5mm芯のシャープペンシルを計500円で集め改良型ペンの製作にとりかかった。製作の根本は前回と全く同様で完成したのが図2のスケッチペンである。これは、120度にLEDがあるので、ほぼ芯の全周に等照明が得られ、更にコードレスなので便利この上もない。また、スイッチとポリウムを別にしたので調整した輝度がすぐ得られて、トンボペンにあった不満は全て解消された。LED3個なのでTriペン、即ち鳥鉛筆の誕生である。

現品は、今、筆者が望遠鏡測に常用しているが、その便利さは何とも言い難く、観測能率の向上に大いに役立っている。諸兄も作ってみることをすすめる。別に特許などといいませんので。

了

TRI えんぴつ 外観図



H氏とM氏の談話室

H & M

M: おいぬしゃ天文台にFM-7があるて知っとるや? H: 知ってまんがなそれぐらい、ウルトラ7の弟子やろ。 M: なんば言いよっとなアంత, 全然違うばいた。 H: エヘッ, セブンとちゃうんかいな。アレッ, マイルド7の事やったかな。 M: アーも歯がゆかネエー, 富士通て所が出したマイコンのこったい。今時マイコンも知らんて, 時代に遅るっばい。あんなあ, マイコンて言うたあ何んでん出来る機械のこったい。 H: エッ, 何んでも出来るんてっか? ほんならわし1人もんやよってに, 女の子1人たのんますせ。 M: なんてな, 女の子の話ならそら古庄さんに頼んだが早かばい。ばってん, このマイコンでちゃ女の子の住所録ぐらいなら, すうぐ出さるったい。だるのか出してやろうか? H: アッ, わてアキナちゃんがい。 M: アキナちゃんて言うたら, このマイコンのあだ名がアキナて言うけんほら, 天文台の住所が出て来た。 H: 城南(冗談)でしよ。

H: ところでなあ, この機械, 天文計算にむくんやろかいな。 M: 天文計算, マカセナサイ。このセブンには倍精度演算が出来る様になっていて, なんと16桁まで計算でくつとよ。 H: エーッ, ゼロが16個もありまんのか, ぎょうさんありまんない。 M: しかも, 計算がアッと言うまに終るくらい速かったい。 H: ほー, まるで8マンでんなあ。 M: いやいや, 8マン(FM-8)なんか目じゃなかばい。

H: ほなさっそく今日の星空でも見せてんか。 M: はいはい, カチャカチャ(とキーを操作する)と。ほらもう出て来たばい。どや, FM-7のグラフィックスの威力は。 H: エーこれがセブンのカラーグラフィックでっか。きれいなもんでんなア。これがオリオン座で, アッこれがシリウスで, こっちが双子..., そう言うたらどとぞの大学が双子座流星群の写真で, 8千円もうけよりましたなア。 M: ふうんそうね。それはそうとカノーブスもちゃんと出とるだろうが。 H: ほうでんなア, そうゆえばどとぞの人も, カノーブスの写真を雑誌に載せよりましたなア。 M: アア, あの写真は良し撮れとると思うたねえ, うん。 H: いやいや, 高々5千円, しかしわたしゃ~8千円, すごいでっしゅろ~。なかなか撮れるもんやあらへんでエノみなさーん, 天文ガイド3月号を見ましようノ

M: ちっとまちなっせ, FM-7と全々ちがう話やなかね

H: いやー。どちらも^{ニコン}マイコン(マイコンとニコンでないカメラ)です。

M: やめさしてもらうわ。 H: ほな, さいなら。

天文台日誌より

84年1月

- 1/ 2 ハレー彗星の掩蔽準備 雲のため写真撮れず (小林 J)
- 1/ 4 冬休みといふか仕事も学校も休んでいるのに…… 四分儀流星群もあるというのに一人も天文台を利用しないとは、ここは一体何なのだろう。 (小林 J)
- 1/ 5 女子高生がいっぱい(10名)で久しぶりに天文台で黄色い声が響いた。 運営委員1人では大変だったけど、女の子のためならエンヤコラ (小林 マ)
- 1/ 7 数少ないメンバーでハレー彗星の掩蔽を観測した。(5ページ参) (野口)
- 1/11 月面 アルキメデスのクレーター内の山影 すごくきれい/ (永井)
- 1/14 (運営委員会) 近頃、土曜日は暇になりつつある。春になるとまた暇かいそうだな
- 1/17 (ぜんざいを食う会) 冬は、ぜんざいがおいしいのです。 (HOT)
- 1/19 「雪がいっぱいだ〜」 雪ダルマを作り 雪見酒でもしますか。 (HOT)
- 1/20 昨日からの宿を貸りてます。今のメニューは、トリ釜飯でした。おいしかった。屋間、城南町資料館を見てきました。 さー 今夜も酒を飲むぞ。
- 1/22 天文台の門(入口)の鎖に錠を付けました。 (小林 J)
夜来ると門に錠が付いていました。望遠鏡の盗難に付する一つの対策だ。 (松原)
- 1/23 見えたぞい クロンメリン $M_1=12$ $Dia=3\sim5'$ $DC=0\sim1$
おそろしく薄い大きな雲みたいな彗星です。 (小林 J)
- 1/25 1月19日の雪が、まだ少し境内に残っている。 (第2観測室の横など)
それにしても 彗星隊では、クロンメリン観測 熱心だなあ。 (永井)
- 1/30 雨が、ふり出してしまい熊本市内へ帰れなかった。 (HOT)

天文台 来台日数

ベスト5

○83年度 9月1日～12月31日まで

1位 小林J 74回、2位 木下 47回、3位 堀田 41回、4位 野口35回、5位 小林M 34回、です。 ちなみに小林J氏は、2日に1度以上は必らず来ていることになります。

☆1月中の来台日数 TOP3

1位 小林J 18回、2位 堀田 15回、3位 小林M 14回、 次点 中川

しかし、全員彗星隊なんですね。 ほかの課は冬眠中かな？

インフォメーション コーナー

★研究発表会とプラネタリウム(冬)を見る会

日時は、 84年 3月 4日 (SUN) 13時30分より17時ごろまで

場所は、 熊本市立博物館 藤崎球場のそば

内容は、 以下のとおりです。

★ 彗星について ★ 彗星課 小林 寿郎

最近の彗星界をリードする彗星課が、83年度中に観測された彗星について、その光度変化と大きさ(視直径)や形の変化を報告します。 30cm反射を使用する彗星の世界へ どうぞ

★ パソコンによる天文計算 ★ 長谷 勇治

パソコンを使うと色々な天文現象についての面倒で時間のかかる計算も簡単に行なうことができます。 そこで天文計算プログラムの利用法とその限界についてお話ししてみたいと思います。

★ 一般公開の現況 ★ 片野坂 重浩

県民天文台も開所からもう2年になろうとしています。 その間、一般公開を中心に活動してきました。 そのことについて、話そうと思います。

★ ふたご座 流星群の観測 ★ 熊大天文同好会+研究会 発表 HO

熊大にある同好会と研究会とが共同で大分大との同時流星観測を行ないました。 観測は、グループ計数観測と四連カメラと固定による写真観測をやり、その結果を発表します。

★ カノーブス撮影レポート ★ 工藤 哲生

南天の星カノーブス。この星を撮影しようと5年程前より5回チャレンジ、しかしいずれも失敗。この失敗をもとに計画を練り、今回一応の結果を得ましたのでここに報告します。

★ H₂ 増感法 ★ 小林 昌樹

最近話題の水素増感法を天文台で行なった実験の報告です。 まだ、雑誌をかざる様なすばらしい写真は 撮ってませんが、一応ここに発表します。

だいたい以上が、研究内容です。 興味のある内容が、いっぱいあります。 どしどし博物館内大ホールへ来て下さい。 なお当日、16時より プラネタリウム『近づく、ハレー彗星』を鑑賞します。 音楽は、バングリス・スカイ・etc

三月の定例観測会 (クロンメルン彗星を見よう会)

3月24日(土曜日)



19時00分より天文台で今話題の彗星、クロンメルンとエンケちゃんにスポットをあてて彗星を見ましょう。講師は、天文台の主の小林 寿郎氏と堀田 守男氏です。天文台の彗星課のブロが、暗くなっていく彗星を見せてくれることでしょう。彗星を1度も見たことのないあなた、あなたですよ! 野口君 さあ彗星を見よう。コメットさんが、待っている。

ハレー彗星までに彗星をしっかり見れる目を持ちましょう。

当日は、近づきつつある火星や輪のある土星など一般公開では、まだ見せていない天体にも30cm反射で見えて見ましょう。

☆☆☆ 今後の予定 ☆☆☆

5月20日 天文台定期総会 おもしろくなければ、総会でない。そうかい。ウフー。

5月19日 あの感動をもう一度。2年2カ月ぶりにみなさんに贈ります。

『さよなら マース』

原作 HO氏 新一

賞賛の言葉

洗練されたギャグと首尾一貫したおもしろさ。

HOT+K

批判の言葉

言語道断な栄華だ。

火星観測者グループ

古庄 和生

★ おわびとお知らせ

去る12月12日天文台の倉庫からビクセン製7センチ屈折赤道儀がなくなっている事がわかりました。天文台周辺を渡したり、各運営委員に心あたりがないか確かしましたが見つからないため、盗難にあったものと判断し、12月21日に豊田駐在所に盗難届を提出しました。松橋警察署の現場検証があり、施錠が不十分ではなかったかとの話でした。

まだ、盗難とはっきりした訳ではないのですが、盗難であれば非常に残念に思います。少しでも早く望遠鏡が返ってくる事を望んでやみません。

天文台としては、運営委員会で今後天文台の運営管理は責任をもって行うように再確認しました。天文台の一財産を紛失したことをおわびするとともに、今後このようなことが起こらないよう努力します。

★ 会計係より 天文台会費未納者の人へ

83年度会費 一般 6000円、友の会 3600円 を3月中に以下の所へ

納入して下さい。でないと退会になってしまいますよ～

納入先

口座番号 熊本 8-24463

加入者名 熊本県天文台 事務局

—— 星 屑 3 月 号 予 告 ! ——

星屑 3月号 の予告です。

特集 流星とるなら 四連カメラ

- ★ 双子座流星を写すのなら四連カメラと熊大天研が、実証した。 四連カメラの製作の方法についてそのノウハウをみなさんにお教えします。

天文ガイド3月号での双子座流星を写して8000円を天文ガイドからもらった熊大生グループの天文研究会 四連カメラ(製作日数・2年)の作り方をあなただけに……/

- ★ 城南町の歴史について

城南町、天文台のある町の歴史について城南町に住んでいるS徳によるレポート。

塚原小埴群やその他の歴史について知ってて徳になるお話しがあります。

- ★ 彗星会議の報告

岡山にて行なわれる彗星会議 ついに 約6名が、参加してきます。 これは、九州の彗星王国を物語るっています。 彗星やるなら熊本ノ すばらしか〜/

編集後記

いやー、近年まれに見る大雪で、地上の世界は乱れている様ですが、天界はそんな事とは関係なく時を刻んでいるようです。 今年の暮には天文台の31cmでもハレーが検出できる様ですし、5月には2年半ぶりに火星が近づいて来ます。 我々も抜かりなく準備を進めていなくてはなりません。 “プロジェクトA”, バイバイ ジュピターの封切間近か。 2010年オデッセイ2の映画化の話も聞きます。

今年は何かと忙しくなりそうですネ。

by. MAT

「教官、やっと星屑ができました。」 「松本、よくできたぞ」

あ〜終わったぞ〜い。 クロメリンコ彗星やエンケコ彗星の輝く、このごろやっと大学の試験が終り、次はレポートと急がしい中を星屑作りにガンバッタのです。 ガンバッタ人には、NOAA.

さて、どうです。新年特別企画の増ページ星屑、今後こうした おもしろい星屑を作っていこうかと思いきや、就職試験が、今夏にありあまり書けそうにありません。 就職決定後には、最後になろう 一大星屑のパロディー誌を発行しようと思います。 ハイ。

それでは、次の星屑まで。

BY HO氏